## WSL と Windows Terminal の導入

濵田 幸希

2020-11-07

### 今日やること

基本的に資料を読んで進める(わからなければ呼んでください).

- WSL をインストールする 設定が上手く出来ていなければ、アンインストールかりセット
- Windows Terminal をインストールする
- Windows Terminal の設定を行う

# WSL (Windows Subsystem for Linux) とは

要するに,

Windows 10 上で Linux を「アプリケーション」として動かすシステム.

Windows Subsystem for Linux とは、Linux のバイナリ実行ファイルを Windows 10 および Windows Server 上でネイティブ実行するための互換レイヤーである。

Wikipedia

# 対応している Linux ディストリビューション

現状,対応している種類が少ないので,実質 Ubuntu 一択...

- Ubuntu
- Debian GNU/Linux
- Kali Linux
- OpenSUSE Leap 42
- Fedora Remix for WSL

#### WSL2 について

■ 従来(WSL1)

WSL1 は Linux を実際に動かしていたのではなく,Linux の命令を Windows の命令に変換させていた.

⇒ 使用できない Linux の機能やソフトウェアなどがあった.

■ WSL2 では

Hyper-V(Windows10 の仮想化技術)を用いることで,実際に Linux を動かしている.

⇒ 今まで動かなかったソフトウェア(CCasl2 等)や Docker などが 使えるように!

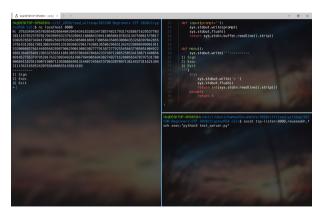
### WSL2 のデメリット

- VirtualBox のような他の仮想化ソフトウェアが使えなくなる WSL2 は Hyper-V を使用するので、VirtualBox などと競合してしまう. (VMware は Windows10 をアップグレードしたら動く)
- 使用し続けるとメモリが不足する可能性がある
  WSL2 のプロセス Vmmem がメモリを確保し続ける.

  ⇒ ホスト側(Windows10)のメモリが足りなくなるかも・・・
  メモリサイズを固定したり,手動で解放してあげたりなど
  といった暫定的な対策方法はある.

#### Windows Terminal とは

Microsoft が開発しているターミナルエミュレータ. コマンドプロンプトや PowerShell,WSL などに対応している.



# 公式ドキュメントがわかりやすい(一部,日本語対応)

Microsoft が開発しているだけあって、公式ドキュメントが充実している!



## 色やショートカットキーなどの設定が簡単

settings.json がとてもシンプルで楽!

